

2008

5

軽商会

Keishokai News

だより

No.299

2008年5月26日発行



東京軽金属商協会
TEL 03 (3668) 8653
FAX 03 (3668) 8652
http://www.keishokai.com
info@keishokai.com
軽商会だより委員会発行
発行人 松下 力

5月軽商会の行事と会議

- 13日 懇親ゴルフ会(武蔵CC 笹井)
- 15日 市場調査委員会(開票)
軽商会だより委員会(編集)
- 23日 軽商会だより委員会(校正)
- 29日 東京軽商会定時総会(精養軒)

メーカー情報

大和金属工業 営業部 野本賢二

弊社では、これまで器物・装飾・雑貨品を中心とした製品に取り組んで参りましたが、近年では弱電・自動車から AV・IT 関連の各部品素材を供給する役割を担って参りました。ご承知の通り、器物類はアジア圏へ移管され、化粧品もまた海外や樹脂化へと変貌をなして来ました。そして更に、家電・自動車メーカーが海外進出を加速させ、加工及び素材の現地調達化が進んでいます。各産業で「かんぱん」は定着しつつありますが、小ロット・短納期の要求は今後益々多く厳しくなると考えます。このような環境下で出来る限り、きめ細かな加工対応を心掛けていきたいと思っていますので、どうぞ当社機能をご活用願います。

1. 取扱加工品種

材質：A1100・1050・1070-0・
H12・H14・H24・H18・
A5052・H32・H34・H18
板厚：0.2~2.0t、圧延及びスリットコイル

2. 主要用途

各種筐体・精密部品・自動車部品・
放熱部品他

3. 得意項目

- ・スリット加工のロット：
100kg/最少ロット(サイズにより
これ以上の場合もございます。)
 - ・スリット加工の納期：
7~10日間(特急対応可)
 - ・圧延加工のロット：200kg/最少ロット
 - ・圧延加工の納期：14日間(特急対応可)
- #### 4. 主要設備概況



設備	工程	仕様規格
圧延機	粗延 仕上圧延	冷間四段圧延機 (通板巾50~250mm以下)
		冷間四段圧延機 (通板巾50~200mm以下)
スリッター	大割り 仕上	大型スリッターライン (通板巾1350mm以下)
		中型・小型スリッターライン (仕上巾5~400mm)
電気炉	熱処理	2.0ton電気焼鈍炉

圧延及び熱処理は汎用品が主で
その他用途については別途ご相談
にて賜ります。

その他詳細はお気軽にお電話頂
くかホームページまでアクセス願
います。

<http://www.daiwa-al.co.jp>

5. 生産販売状況

平成18暦年年度と平成19暦年
年度を比較すると、若干の減収は免
れませんでした。一昨年度まで比較
的堅調でありました自動車・精密部品

も昨年度から調整局面に入った様
子がうかがえました。その他弱電等
は一部に兆しが見える物もありま
すが、全般的に低調続きです。国内
はもとより北米のサブプライム問
題が早期に解決し、為替及び株価の
相場が安定する事を期待したいで
す。

最後に余談ではありますが、弊社
はお蔭様で1959年4月創業以来本
年をもちまして創立50周年を迎
えることとなりました。

今年は4年に1度のオリンピック
イヤーで、50年前は何処で開催さ
れたのか調べてみると、1960年に
イタリア、ローマで開催されました。
日本は次回母国開催に向け強化途
上にありましたが、体操・競泳・
レスリング等でメダル総数18個を
獲得し、出場国中8位の成績であり
ました。この大会日本選手団が開
会式の入場行進の際、来賓席に向
かってナチス式敬礼を行い、ひんし
ゅくを買ったそうです。ファシズ
ムを想起させるこの敬礼はイタリ
ア、ドイツではタブーとなってい
ましたが、日本では1970年代まで
スポーツ大会では一般的に行われ
たそうです。戦後の復興と先進国
の仲間入りを目指した頃とはゆえ
、国際的マナーには未だ乏しか
ったのでしょうか？

今年は赤い昇竜こと中国が国の
威信を掛け開催しますが、問題
山積の中はたして無事に閉幕する
事が出来るのか別の意味で興味
津々です。皆様はどうお考えで
しょうか？



与信管理の重要さ

萬世興業 樋川 桂



去る4月23日、(株)帝国データバンク江口一樹氏による「与信管理セミナー」に

参加させて頂きました。

今回は「危ない会社の見分け方」という演題でお話をお聞かせ頂いたのですが、「与信問題」は企業と企業が関わりを持つ上で軽視してはならない事であり、今後の企業の成長にも多大な影響を及ぼすという事を感じ取ることができました。

まず最初に、老舗の取引先こそ注意が必要だということ。こちらには驚かされました。2007年の倒産企業のうち、業歴30年以上の老舗が約3割を占めている現実を知らされ、決して油断は許されない世の中になってきてしまっていると言う事を改めて気付かされました。「時代にそぐわない」「高齢者が多い=人件費問題」「銀行からの格付け」色々な問題点を抱え日々営業していることを忘れてはならないのです。

次に、「社長は会社の鏡」だということ。企業をチェックする上で欠かせない項目です。人格、経営態度は勿論の事、私生活までも与信の天秤にかけられるチェックポイントです。よって、社長と直接会って話をする中で「肌で感じる」必要性が生まれます。特に中小企業は「会社=経営者」の側面が強いので、より一層その必要性が強くなります。

そして、数字の比較を怠ってはいけないということ。極端な数字の増減は、換金・売り逃げ・仕入資金の

窮迫を示す場合がある為、疑いの目を持って確認することが重要です。粉飾決算の大半が「資産の水増し」ということで、貸借対照表からの情報が大きな鍵となります。「売上高の減少が3期以上続いている」「借入金が月商の5倍以上となっている」「流動負債が流動資産を上回っている」といったようなことは十分な注意が必要です。

これらの事柄から、経営破綻する企業にはどこかに必ず何らかの危険兆候があり、形にあらわれるもの、あらわれないものなど、こちら側からも読み取ることができます。

与信管理の基本は「その対象企業のありのままを感じ取り、不審点があったらなぜそうなのかという疑問を持ち、原因を調べ対処する」というところにあります。「少しの疑問」が「企業破綻の影響を未然に

防ぐ」ということに繋がるのです。常に「五感」を研ぎ澄まして、僅かな「スキ」も見逃さないという姿勢を保つことが大切だということです。

ここで自分が一つ考えたことは、その「生まれた疑問」をどう対処するかということです。小生まだまだ未熟者で、個々に点在するその疑問点が経営破綻の何に繋がっているのかを見いだすという事は、正直難しい感じられます。ですが、そのような自分でも心掛けさえあれば出来ることがあります。それは「情報を共有する」ということです。営業部門、間接部門、上司、部下に関わらず、ちょっとした事でも「生まれた疑問」を共有し合う環境を構築することによって、営業部門では見えてこないもの(=数字になって表れているも)や間接部門では見えていないもの(=取引先の状態、雰囲気)が表れてきます。そして、それらが社内で見つめ直され、整合されたものが与信管理においての重要な材料になるものだと考えます。



軽圧品市場調査一覧表

(4月末日現在)		(単位円/kg)					
品 種	地 区	東 京		大 阪		中 部	
		前月	当月	前月	当月	前月	当月
アルミ大板		680	680	735	735	710	710
アルミ小板		710	710	755	755	730	730
5 2 S 板		700	700	740	740	735	735
5 6 S 棒		750	750	810	810	815	815
快速棒		830	830	880	880	865	865
6 3 S 型材		600	600	675	675	685	685

全国軽金属商協会

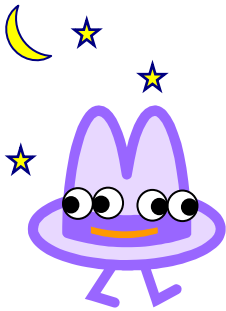
ウォーキング

中島アルミ 勝地一雄

小生67歳、体力にはまだ自信があると自分自身で満足していましたが、最近騒がれているメタボリック症候群のウエストサイズに引っかかりまして、食事に配慮しながらウォーキングや運動を心がけています。最近の検査で高コレステロールと高血圧だとドクターに言われ「ウォーキング」しなさいといわれまして頑張って散歩しております。しかし、ただ歩くというのは面白くなく歩く楽しみを作ろうと思ひまして、錦糸町という場所柄もあり、夜の散歩をやって見ました。

普段気がつかない場所に意外とよい居酒屋、こんな所にチャンコ料理、韓国料理、焼鳥屋。又、ロシア、フィリピンなどのスナックなど場所探しに楽しみが沸いてきました。

半年後、只通ってばかりでは面白くないもので場所が分かればいつか試してみたいかなるものです。



つついとい通いだしウォーキングの効果より飲みすぎ食べすぎで逆効果、これではいけないと思ひ、次の場所探し。今度は歓楽街とまったく違うわが社の廻りの名所探索。下町の名所旧跡をさがしその場所がどんなものかを確かめたくなりました。

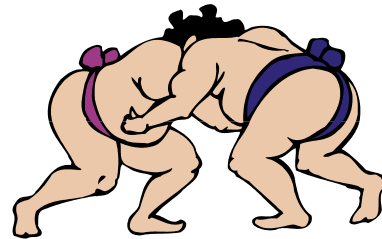
まず初めに墨田区横網町にあります震災祈念堂。関東大震災の際死亡した方の慰霊堂で、東京大空襲で亡くなった身元不明の遺骨を納骨堂に納め、東京都慰霊堂と改称され

たと書いてありました。となりには皆様ご存知の江戸博物館。ミニチュアでの日本橋近辺が本物みたいに出来ています。毎回何かテレビ歴史ドラマにちなんだ催し物を展示し3月は篤姫展でした。

江戸博の横を両国の方に向かいます。江戸博沿いにはいろいろの種類の桜が植えられています。2月後半から3月4月と桜が見られるのもなかなか良いものです。見取れている内に旧安田庭園が右側に見えてきます。安田善次郎の所有物を東京都へ寄贈し昭和41年に墨田区に移管され、池や樹木も修復されて一般公開されています。すぐ左が国技館。

国技館の中には相撲博物館があり相撲が開催されていない時は無料で中に入れます。よく相撲を観戦に行きますとお土産が付きます。この中にはいろいろな物が入っていますが、必ず焼き鳥があります。これは縁起を担いで手が付かない二本足の鳥をいれるそうです。国技館の地下には焼き鳥の工場があるそうです。

場所中は各力士ののぼりが立ち華やかになります。場所中6時の相撲打ち出しとなれば、やぐらの上から聞こえる打ち出し太鼓の音がテンデンバラバラ テンデンバラバラと聞こえるのが不思議です。テンデンバラバラに、駅に向かう人チャンコ料理に行く人それぞれです。この近辺では「チャンコ吉葉」横網の吉葉山がいた宮城野部屋の跡を割烹にしてあり、中には本物の土俵があります。日本酒を飲みながら実演の相撲甚句が聞けるのもいいものです。駅の反対側にはチャンコ霧島、駅近くにはチャンコ巴湯、チャンコ鍋はその店々で、各々味も違い飽きないものです。両国橋の袂には山くじら猪料理の[ももんじや]が



あります。メニューには熊鍋や狸汁、鹿の刺身など普段食べられない物が出てきます。一回位トライするのもいいと思います。

両国駅前を抜け京葉道路を横切りますと、目の前に回向院があります。ここも相撲に関係があり、江戸時代年2回境内において勸進相撲が行われていたそうで、相撲の発祥地と言われているそうです。境内には義賊といわれた鼠小僧次郎吉のお墓もあります。最近を受験生の合格祈願で墓石の破片をお守り代わりに持ち帰る人が後を立たないそうです。又この近くに忠臣蔵でおなじみの赤穂浪士の面々が吉良上野介の屋敷に討ち入り無事本懐をとげた吉良邸があります。本所松坂町公園の中には赤穂浪士が討ち入り吉良上野介の首を洗ったといわれている首洗いの井戸なども残されています。

両国近辺には多くの相撲部屋があります。両国橋近くから順に春日野部屋、井筒部屋、出羽の海部屋、時津風部屋、

大島部屋、二所ノ関部屋、花籠部屋、錦糸町よりに横綱白鳳がいる宮城野部屋があります、相撲部屋探しも面白いと思います。之から段々緑も深まり日が伸び明るいです。建物もきれいにみえ、気候も良くなりウォーキングには絶好です。いろいろな花の香り有り、又食べ物屋の香り有り、その場所の場でいろいろな香りがあります。これも散歩のいいところですが。しかし最近散歩する人が増えており年齢は私と同じような方ばかりです。おなじみになればお互い挨拶をするようになります。ご苦労さまと軽く会釈される方などその方によってばらばらですがこれからはがんばって続けましょう、イチニイチニ。

(5月11日の日記)

天気予報を見た。子供が言うように台風2号が太平洋を北上していた。日本列島にかかる雲は、太平洋側を覆い13日は雨の予報であった。ここまできたら祈りも効かないだろうと思いつつも“てるてる坊主”を作った。前回の“てるてる坊主”は、頭が重くなり逆立ちのようなかっこになったため、きっと豪雨になったのだと勝手に思い込み、ティッシュペーパー1枚のみを小さく丸め、頭に包んだ。顔はもちろん笑顔を描き、晴れますようにと祈りながら物干し竿に掲げ、床に就いた。

(5月12日の日記)

この日は出張で地方に行った。移動中も天気が気になり、携帯の天気予報を見てみたが、13日の予報は雨であった。台風も関東に近づきつつあり、また、大陸から

は低気圧が近づきつつあった。日本は両方から板挟みになるような形で、誰が見ても雨しか考えられない雲の動きであった。仕事を終え、帰宅した後も天気が気になっていたが、雨脚は強くなる一方であり、物干し竿に掲げた“てるてる坊主”は「ごめんなさい」といって頭を下げるようなかっこになり、その顔は雨のため、涙を流してマスカラが滲んだようになっていた。明日は丸坊主を覚悟しよう。

(5月13日の日記)

朝になった。外から聞こえてくるのは激しく振る雨の音であった。「しょうがないな・・・」

車に乗りゴルフ場に向かった。雨は止む気配もなく強く振り続ける。ワイパーも激しく動いていた。

ところが、関越道の新座料金所を越した辺りから雨脚が弱まってきた。そして、川越を越した辺りからは、ほとんど雨は止んでしまった。ゴルフ場に着くと雨は降っておらず、スプリンクラーで水を撒いているほどであった。「奇跡

だ! やったあー!」というわけで、武蔵カントリークラブ笹井コースにて参加者34名が競技をスタートした。コースコンディションは、バンカーが雨のため若干かたくなっていたものの、その他は、ほぼベストの状態であった。フラットながらも距離と林とグリーン周りのバンカー、そしてグリーンの上さに(私だけが?)苦勞しながらも、参加者各位においてはゴルフを堪能されたのであれば幸いである。

優勝はメタルサービスセンター(株)の西村邦夫氏、そしてBBは中田金商(株)の中田悦弘氏であった。次回はこの2人の幹事のもと10月8日(水)に石坂ゴルフクラブにて開催される。多数の参加をお待ちしております。

最後に一言。ゴルフボールをご提供頂いた住友軽金属工業(株)様とバターをご提供頂いた住軽商事(株)様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

平成20年4月の景況

